2012 年 12 月 27 日 第 6 版
カネダ株式会社

安全データシート

作成 2000 年 6 月 6 日
改定 2012 年 12 月 27 日

１．化学品及び会社情報

化学品の名称	ポイントクーラーⅡ
製品コード	29010122
整理番号	29010122-06
供給者の会社名称	**カネダ株式会社**
住所	東京都中央区日本橋本町 1-4-12
連絡先	品質保証室
	電話番号： 03-5200-1347 （受付時間： 月曜日～金曜日 9:00－17:30）
	FAX 番号： 03-5200-1317
	メールアドレス： msds@kaneda.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	電子部品用部分冷却剤

２．危険有害性の要約

GHS 分類区分

物理化学的危険性	エアゾール	区分外
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	区分外
	皮膚腐食性及び刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（麻酔性）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
環境有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（長期間）	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語

・ 警告

危険有害性情報

- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 眠気またはめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 指定された個人用保護具を使用すること。(本 SDS 第 8 節参照)
- ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】

- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は医師に連絡すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

- 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性

- 高温にすると破裂の恐れがある。

その他注意事項

- 本製品を使用する際には、飲食または喫煙をしないこと。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	1,1,1,2-テトラフルオロエタン
別名	HFC-134a
化学式	C2H2F4
CAS No.	811-97-2
濃度	99.5%以上
官報公示整理番号	化審法：2-3585、安衛法：2-13-48

４．応急措置

吸入した場合

・直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、衣類を緩め、すみやかに医師の手当てを受けること。

・呼吸が止まっている場合、気道を確保した上で人工呼吸を施し直ちに医師の手当てを受ける。また、呼吸が弱い場合、もしくは人工呼吸が困難な状況の場合は、人工呼吸を行わず酸素吸入を施し直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

・ガスの接触では影響はないが、液体に接触すると凍傷になる恐れがある。

・濡れた衣類を直ちに脱がせる。衣服が凍り付いて取れないときは無理に取らないで、その他の部分のみ衣服を切り取る。作着部（患部）を“ぬるい水”につける。(熱いお湯につけない、患部をこすらない。)

・早期に医師の診断を受ける。

・皮膚が破れている場合は菌に感染することがあるので、水にはつけないで、医師の診断を受ける。

・汚れた衣服は、再使用前に良く洗うこと。

・取り扱い後はよく手を洗うこと。

眼に入った場合

・液体に接触した場合は、直ちに清浄な流水で 15 分以上洗顔し、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

・常温・常圧のガスなので、通常の使用において飲み込むことは考えられない。

医師に対する特別な注意事項

・エピネフリン等のカテコールアミン系医薬品の使用は、心臓不整脈の原因となるため、緊急の生命維持の治療に限って、特別な配慮の基に使用する。

５．火災時の措置

消火剤

・本物質は不燃性なので、周辺の火災に対して適切な消化剤を選定し、使用する。

使ってはならない消火剤

・情報なし

火災時の措置に関する特有の危険有害性

・情報なし

特有の消火方法

・容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器に破損が生じないように散水し、冷却する。

・炎により分解生成した有害ガスを吸入しないように注意し、周辺の火災の消化に努める。

・消火作業は風上から行うこと。

消火を行う者の保護

・状況に応じて呼吸用保護具を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・大量に漏れた場合は処置関係者以外安全な場所に退避させ、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。

・室内の処置作業は酸欠の可能性があるので、換気するか空気呼吸器を使用する。除去作業の際は適切な個人用保護具を着用する。

・ガス密度が空気よりも大きいので、低い場所や密閉された場所に溜まりやすいので注意する。

環境に対する注意事項

・極力大気への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

・付近の点火源、高熱源を直ちに取り除く。(熱分解の防止)

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

・情報なし

安全取扱注意事項

・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

・火気には近づけないこと。

・喚起の良い場所で使用し、容器は保管の際にはキャップをすること。

・吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。

・通気の悪い場所での作業時には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具をつけて作業する。

・炎に向けて使用しないこと。

保管

安全な保管条件

・保管の際はキャップをすること。
・直射日光の当たるところ、40℃以上となるところに置かないこと。
・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
・錆の発生しやすいところ、水のかかりやすいところ及び湿気の多いところに置かないこと。

混触禁止物質

・アルカリ金属、アルカリ土類金属（ベリリウム等）、マグネシウム合金（２%以上）、粉末アルミニウム、亜鉛、溶融苛性から離しておく。

安全な容器包装材料

・情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度

設定されていない。

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉かまたは局所排気装置を設置する。
・取り扱い場所の近くには、高温体や発生源となるものが置かれないような設備とする。

保護具

・状況に応じ、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	無色透明
臭い	わずかにエーテル臭あり
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲の下限・上限	データなし
蒸気圧	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

１０．安定性及び反応性

化学的安定性

・常温では安定である。重合反応は起こらないであろう。

危険有害反応可能性

・水との反応性なし、酸化性なし、自己反応性なし。

避けるべき条件

・裸火、高温表面との接触を避ける。

混触危険物質

・アルカリ金属、アルカリ土類金属（Mg、Be 等）や粉末状アルミニウム、亜鉛、溶融苛性との接触

危険有害な分解生成物

・熱分解すると、腐食性の強いフッ化水素、ハロカルボニル等の毒性ガスを生じる恐れがある。

１１．有害性情報

急性毒性

データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

目を刺激する可能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性，単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性，反復ばく露

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

１２．環境影響情報

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物

・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

・容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国連番号：1950

品名：エアゾール（AEROSOLS MAXIMUM 1litre）

国連分類：クラス 2.1（高圧ガス　非引火性　非毒性）

国際規制：航空輸送はＩＡＴＡ及び海上輸送はＩＭＤＧの規則に従う。

国内規制：陸上輸送；消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う。
海上輸送；船舶安全法の輸送について定めるところに従う。
航空輸送；航空法の輸送について定めるところに従う。

特別の安全対策

・車両への積載に際しては容器の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ

の防止を確実に行う。

・車両のダッシュボード上等、40℃以上になる所には置かない。

１５．適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）:　非該当

毒物及び劇物取締法:　非該当

労働安全衛生法:　危険物、特化則、有規則、表示物質、通知対象物に該当しない。

消防法:　非該当

船舶安全法:　危規則告示別表第 1　エアゾール

航空法:　施行規則第 194 条　告示別表第 2（高圧ガス）

高圧ガス保安法:　適用除外

但し、政令告示並びに高圧ガス保安一般規則規定に従う。

大気汚染防止法:　揮発性有機化合物（VOC）

特定製品にかかるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律:　第 2 条

地球温暖化対策の促進に関する法律:　第二条第三項第四号に掲げる物質

化学兵器禁止法:　特定有機化合物　施行令 4 条 1 項 1 号　関税定率法別表　フッ素化誘導体

１６．その他の情報

安全データシートは危険性、有害性を有する化学製品について安全な取り扱いを確保するために参考情報として、取り扱う事業者に提供されるもので、安全の保証書ではありません。